

未来の

中学生のための地域リーダー育成キャンプ
「ネクストリーダーズアカデミー」
主催：福岡県

リーダーは、 今のキミだ。

令和7年度事業報告書

夢を叶えたい！

未来の幅を広げたい！

自分の力を試したい！

今の自分を知りたい！

仲間を作りたい！

そんなキミの「やりたい」を
現実にする力を身につけよう！



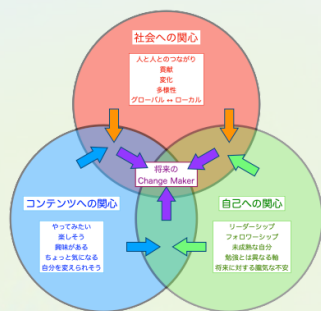
プログラムの様子は
動画でもチェック！



ふくおか地域リーダー育成キャンプ

「ネクストリーダーズアカデミー」基本コンセプト

- ・「ネクストリーダーズアカデミー」が目指す人材像
「小さな違和感や課題に気づいて、それらを仲間と共有し、自分たちが
できる範囲から変化を起こすことができる人」としての“Change
Maker”を目指す。
- ・目標設定：プログラム終了後の具体的な人材像
 - ① 中学生がプログラムを通じて、ローカル×グローバルの双方の視点を持つ。
 - ② 中学生自身が15年から20年後の地域の担い手であることを自覚的に意識する。
- ・地域リーダーとは何か：アントレプレナーシップ的視点からの再定義
プログラムを通じて育成を目指す地域リーダーは、チェンジメーカーであり、不確実な未来を自ら切り拓くアントレプレナーシップ（起業家精神）を体現する存在として捉えました。



参加者が内在的に持つ関心は大きく3つに分けられます。

- ① 社会への関心
人とのつながりや多様性、貢献意識など、広い世界との接点に対する意欲
- ② コンテンツへの関心
「やってみたい」「楽しそう」といった活動へのワクワク感や好奇心
- ③ 自己への関心
自分の強み・弱み、将来への不安、リーダーシップへの興味など、自分自身に向き合う意識

参加者は本プログラムでの学びと他者と関わる中で、自分を問い直し、社会との接点を再認識していきました。また、地域や社会に対して主体的に働きかける力を育んでいきました。参加者は講師と大学生メンターの伴走のもと、15年から20年後の未来を担う“Change Maker”としての意識を育みました。



遠賀地域 スプラウト



遠賀地域では、12月7日に開催される「第58回遠賀・中間地区農業祭」での販売を目標に、ビジネスを通じた地域と経済のつながり、一歩踏み出してチャレンジするマインドを学習しました。

第1回研修：10月19日（日）

1. アイスブレイク
- 2.アントレプレナーシップとは
3. 講演会



研修の最初は、自己紹介と「なんでもバスケット」を行い、緊張しながらも積極的にコミュニケーションをとっていました。続いて、アントレプレナーシップ（起業家精神）とは何か、起業家はどんなことを考えているのかを学びました。最後には岡垣町で事業を営む「ぶどうの樹」からゲストをお招きし、地域で会社を経営する意義を学ぶ貴重な講演をして頂きました。

第2回研修：11月15日（土）-16日（日）〔宿泊〕

1. 講義「経営理念」
2. アイデア出しワーク
3. 講義「組織、会計、経営戦略」
4. 商品を決定しよう



研修1日目は、出店を行うために必要な経営に関する知識を大学生から学びました。「経営理念」を設定し、自分たちのチームがどのような姿でありたいか考えました。また組織のあり方、会計の基礎、経営戦略を学び、最後に出店に向けたアイデアを生み出すワークショップを行いました。そして、出店当日をイメージしながら販売する商品を決定しました。

5. 講義「経営計画」
6. 経営計画シートの記入
7. 出店内容発表



研修2日目は、1日目に決めた計画に基づいて、商材をどこから仕入れるのかを話し合いました。そして、自分たちの出店にかかる費用や目標販売個数、売上高を設定しました。最後に、各グループが話し合ってきた内容を全体で共有しました。

第3回研修：12月14日（日）

1. 振り返り
2. ピッチ準備・実施
3. 表彰式・修了式



教室での学びと出店を通して、何を学んだのかを自分たちの言葉で表現するワークショップを行いました。続いて、振り返りで言語化した学びをピッチに落とし込む作業を行いました。最後に、参加者や保護者の方やゲストに向け、模擬店の企画、出店の成果、プログラムを通じて参加者が学んだことを振り返るピッチを行いました。

販売実習：12月7日（日）



迎えた本番には、趣向を凝らしたクリスマスマーケットのような店舗が出現しました。



中学生の「いらっしゃいませ！」の大きな声が響く中、多くのお客様にご来場頂きました。

糟屋地域では、米国発STEM教育プログラム“ZERO2MAKER”を導入し、プログラムの発案者であるRajesh Nair氏による講義を実施しました。また、J-SPACE株式会社 代表取締役 足立憲正氏による商品開発講義を受け、「ペットが遊ぶ玩具」を製品開発し、事業化に至るプロセスを学習しました。

第1回研修：10月18日（土）-19日（日）〔宿泊〕

1. アイスブレイク
2. アイデア出し
3. スピーカー作り
4. デザイン・設計プログラミング



宿泊研修1日目は、自己紹介とレクリエーションで緊張をほぐすことから始まり、発想力を鍛えるワークを実施しました。メイン活動ではチームで協力してスピーカーを製作しました。さらに3D CADを用いたデザイン設計や、ライトやブザーを制御する電子工作プログラミングに挑戦し、ものづくりの一連のプロセスを体験しました。

5. 電子工作プログラミング
6. ストーリーテリング
7. ペット用のおもちゃ作り
8. 製品プレゼン



研修2日目は、製品紹介の鍵となる「伝える力」を磨くストーリーテリングから始まり、学んだ知識を活かしてチームでペット用おもちゃを製作しました。さらに紹介動画や資料も作成し、最後は自信溢れる製品のプレゼンを行いました。参加者の前向きな姿勢が光る充実した内容となりました。

第2回研修：11月16日（日）

1. ペーパータワー
2. 講義①「価値創造」
3. 講義②「製品開発サイクル」
4. 製品制作



この日はペーパータワーによる活気あるアイスブレイクからスタートしました。講義では足立氏から「価値創造」をテーマに自動車会社の事例から「製品開発サイクル」を学び、顧客視点や顧客ニーズに合った改善の重要性を習得しました。これらを踏まえた製品制作では、各チームが試行錯誤を繰り返し、作品をより魅力的にブラッシュアップさせました。

第3回研修：12月14日（日）

1. ピッチ準備
2. ピッチ発表
3. 座談会
4. 表彰式



最終回の研修では、集大成としてのピッチ大会を開催しました。入念な準備を経て行われた発表では、各チームが真剣にこれまでの学びを披露し、緊迫感のあるピッチと審査員とのやり取りが行われました。大会後は足立憲正氏と審査員の株式会社乗富鉄工所 乗富賢蔵氏による座談会が行われ、参加者に向けて将来に役立つ貴重な助言を頂きました。

筑紫地域



最強のハンバーガー を作ろう

筑紫地域では、ベッドタウンである同地域の将来課題を見据えて、「食の豊かさと将来のまちの姿」をテーマにプログラムを実施しました。株式会社ホーホッと地域のみなさまのサポートのもと、中学生たちは那珂川市の恵みを活かしたハンバーガーの企画・販売体験を行いました。

第1回研修：1月31日（土）-2月1日（日）〔宿泊〕

1. 講義①「アントレプレナーシップ」2. 講義②「経営の意義とは」

3. 那珂川のお店を知らう

4. ハンバーガー店主から学ぶう



宿泊研修1日目は、アイスブレイクでの交流から始まり、大学生による講義で「アントレプレナーシップ（起業家精神）」や経営の基礎となる理念、戦略を学びました。チーム名や理念決めでは、未来のお店を想像しながら積極的に議論。最後は地元のハンバーガー店主によるトークショーを通じて、経営の裏側や商品への想いに触れる貴重な機会となりました。

5. 前日の振り返り

6. ハンバーガー作成

7. 商品開発&経営計画

8. 発表会



宿泊研修2日目は、前日の学びを整理する振り返りからスタートしました。まずは色紙や新聞紙を使って理想のハンバーガーを試作し、斬新なアイデアを可視化しました。その後、経営理念に基づいた具体的な商品開発と経営計画を練り上げました。最後は保護者や仲間に向けた発表会を行い、想いのこもったプレゼンを披露しました。

第2回研修：2月14日（土）

販売実習：3月1日（日）

1. 振り返り&グループワーク

2. フィールドワーク

3. 試作開始



古民家を拠点にこれまでの活動の振り返りからスタート。フィールドワークでは街へ飛び出し、地元のハンバーガーショップや農園、パン屋といった事業者の皆様へのインタビューを行い、プロの極意を直接伝授して頂きました。その後の試作では、斬新なレシピも誕生。出店本番に向け、個性豊かなハンバーガーが完成しました。



いよいよ販売当日。3チームがそれぞれ趣向を凝らしたハンバーガーができました。お客様の反応はいかに。

第3回研修：3月7日（土）

1. 最終発表会準備

2. 最終発表会

3. 修了証授与



最終回は、これまでの学びを振り返り、「まちとの関わり方」について深掘りしました。続く最終発表会では、自分たちの活動を自分たちの言葉で堂々とプレゼン。大学生との質疑応答も完璧にこなし、大きな成長を見せました。最後は大学生から一人ひとりに合わせた修了証が授与され、感動の締めくくりとなりました。



予想を超えるお客様がご来店。誰もが笑顔になる美味しいハンバーガーは、あっという間に完売しました。

ネクストリーダーの放課後



3地域で実施されたプログラムで学んだネクストリーダー。プログラムを終えてから少し時間が経って、参加者は日々、何を感じていたのでしょうか。久しぶりに会った仲間と対話をしていく中で、互いの学びを共有し、豊かな将来を築いていこうという場となりました。

1. 似顔絵Remix



中学生と大学生が混ざり合い、3秒間で相手の顔を覚え、パーツごとに描き繋いでいく「似顔絵ワーク」に挑戦。最初は緊張していた中学生たちも、「顔をじっと見る」という照れくさく楽しい作業を通じ、一気に笑顔が溢れて大盛り上がり。自然と相手の顔と名前を覚えることができ、その後に繋がる良い交流のスタートを切ることができました。

2. 活動の振り返り



中学生と大学生がペアを組み、対話を通じて各地域の活動を言語化に挑戦しました。その後、他地域の参加者とグループを作り、互いの参加地域で学んだこと語り合いました。「振り返り」というより「お喋り」に近い形式もあり、自然と言葉が溢れる場となりました。初対面同士でも会話が弾み、自分たちの活動を見つめ直すと同時に、他地域の取り組みを楽しく知る貴重な機会となりました。

3. value card



各自に配られた言葉のカードを取捨選択し、自分にとって「最強の価値観5つ」を絞り込むワークを実施。選んだ理由を共有する中で、自分とは異なる視点に驚いたり、逆に相手の意見に深く共感したりする姿が印象的でした。対話を通じて多様な考え方に触れ、自分自身の軸を再確認するなかで、他者を尊重する姿勢を養うきっかけに繋がりました。

4. トイピクニック



選んだ価値観をもとに「問い」を立て、お菓子を手に屋外で語り合う「トイピクニック」をしました。福岡大学のキャンパスという開放的な環境で、大学生とじっくり対話。普段接点のない世代と多様なテーマで語り合う時間は、中学生にとって自分の将来や進路を具体的にイメージする貴重な時間になりました。

5. ガチャトーク



各自が提案したテーマと名前を箱に入れ、くじ引きで選ばれた人が発表するワークを行いました。「いつ自分が指名されるかわからない」という適度な緊張感が、1人ひとりがテーマをジブンゴトとして真剣に考えるきっかけとなり、発表後のグループ対話ではより深みのある意見交換が展開されました。

6. 応援メッセージ交換



研修の締めくくりに、中学生と大学生でメッセージカードを贈り合いました。対面では少し照れくさくて言葉にできない感謝や応援も、手書きのカードに託すことで素直に伝えることができました。一日で築いた絆を温かいメッセージとして形に残すことで、参加者全員にとって次の一歩を踏み出すための励みとなったのではないのでしょうか。

参加した中学生の声

プログラムを受講したネクストリーダーとなった皆さんはその後どのような日々を過ごしているのでしょうか。プログラムを終えた中学生の声を集めました。

遠賀地域

今回のプログラムで私が大切だと学んだことは、「聞くこと」と「考えること」です。学校などでは他の人と似た意見を出したり、他の人に頼ってしまうこともありましたが、今回のプログラムを通して知らない人と意見を交換するためには、自分の意見を分かりやすく伝えることが必要だと考えました。これからもこの学びを忘れずに大切にしていきたいです。(H.Mさん)



糟屋地域



今回のプログラムで感じたことは「楽しかった」と言うことです。単純な感情のように思えますが、深い理由があります。なによりも仲間たちと協力してピッチで優勝したんですから。自分が企画した物を仲間たちが具現化し、完成をサポートしてくれました。嬉しかったです。この出来事をきっかけに、新しい仲間と一つのことに向き合っていく楽しさを知り、新しい出会いが楽しみになりました。(N.R.さん)

筑紫地域

プログラムを受ける前は、自分で考えて物を売る経験をすることや学校以外での出会いはないと思っていました。しかし、プログラムを受けてからは、学校でも自信を持った発表や、リーダーシップを発揮できるようになりました。やってみるとできるし楽しいことを知り、これからもいろんなことにチャレンジして自分の気持ちを伝えられる人になりたいです。(S.Hさん)



運営事務局
一般社団法人スプラウト

(問合せ先)

〒812-8577

福岡県福岡市博多区東公園7番7号

福岡県人材育成・活躍推進部

私学振興・青少年育成局青少年育成課

TEL : 092-643-3402 (平日9:00~17:00)

E-mail : ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp